

消化器検診 Newsletter

[日本消化器がん検診学会関東甲信越支部機関紙]

No.104

発行所: 日本消化器がん検診学会
関東甲信越支部
〒183-0042 東京都府中市武蔵台2-9-2
東京都がん検診センター
消化器内科
TEL/042-321-0711
E-mail:kantou@jsgcs-kanto.jp

目次

第76回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会

地方会会長挨拶.....2

第9回ザ・ベストイメージングコンテスト結果報告.....3

第77回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会の告知

地方会開催案内.....5

地方会会長挨拶.....6

日本消化器がん検診学会関東甲信越支部

放射線研修委員会

第48回放射線研修委員会学術集会開催案内.....7

超音波研修委員会

第22回初心者のための超音波実技講習会開催案内.....8

平成29年度超音波研修委員会セミナー開催案内.....8

第6回千葉セミナー開催案内.....9

日本消化器がん検診学会関係講演会、研究会の告知

超音波スクリーニング研修講演会2016五反田開催案内.....10

第12回千葉県消化管画像づくり研究会開催案内.....11

編集後記 山口和也.....12

第76回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会

第76回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会会長挨拶

第76回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会を終えて

新潟県立がんセンター新潟病院
成澤 林太郎

去る平成28年8月20日(土)新潟市の「朱鷺メッセ」で、第76回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会を開催させていただきました。好天に恵まれたこともあり、首都圏以外の開催にもかかわらず、454名もの多くの皆様にご参加いただき、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

今年の4月から内視鏡による胃がん検診が可能となったこともあり、『消化器がん検診の新たな展開』をテーマとさせていただきました。特別講演では、韓国からYeol Kim先生をお招きし、「National stomach cancer screening in Korea」と題してご講演いただき、胃がんのみならず韓国のがん検診の現状も拝聴できました。仁川空港と新潟空港間には週5便の直行便がありますので、Kim先生にはそれを利用しお出でいただきました。

一般演題以外に、教育講演を4題、ランチョンセミナーとイブニングセミナーを各1題、シンポジウムを2題、パネルディスカッションを1題行いました。また、例年のように、症例検討会、ザ・ベストイメージングコンテストも企画いたしましたが、今年はアンサーパッドを使用した参加型の画像評価検討会も実施いたしました。どの会場も熱気にあふれ、活発なディスカッションができたものと思っています。これも、会員の皆様、実行委員の皆様、協賛や後援を賜りました団体の皆様方のご支援の賜物と心より御礼申し上げます。

「朱鷺メッセ」という名称は、佐渡に生息する「朱鷺(とき):学名Nipponia nippon」に由来するものですが、学会終了後、佐渡に行かれ、優雅に舞うその朱鷺の姿をご覧になった方もおられるかと思います。

実は、平成30年6月に第57回日本消化器がん検診学会総会を新潟の地で開催する予定になっております。そのため、今春、同じ会場の「朱鷺メッセ」を予約いたしましたが、すでに6月の週末は予約で埋まっておりました。関係者の話では、平成32年に開催される東京オリンピックの影響とのことです。平成30年頃は、オリンピックの開催に合わせ、首都圏のイベント会場が改修工事真最中で、東京から便のよい新潟で多くのイベントが開催されるためとのことです。東京オリンピックの影響などさらさら考えていなかったものですので、正直大変驚きました。幸いなことに、当地には朱鷺メッセ以外にも、学会開催可能な施設が複数あります。日程や会場の詳細が決まりましたら、学会誌などを通じて、ご案内させていただきます。2年後の総会にも多くの皆様のご参加をお願いいたします。

最後に、次回の神奈川県で開催されます第77回地方会の盛会を願うとともに、本支部のますますの発展と本支部会員の皆様のますますのご活躍とご健勝を祈念いたしまして、御礼のご挨拶とさせていただきます。

第9回 ザ・ベストイメージングコンテスト結果報告

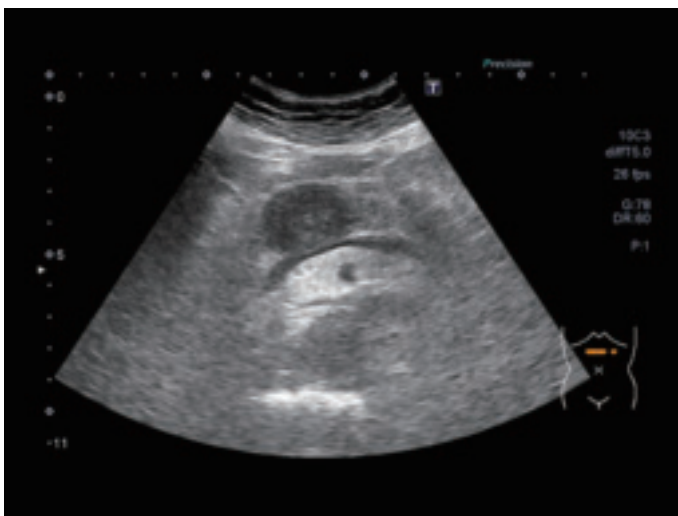
第76回関東甲信越支部地方会は平成28年8月20日、成澤林太郎先生（新潟県立がんセンター新潟病院）を学会長とし、朱鷺メッセにおいて開催されました。超音波研修委員会プログラムにおいて今回も第9回ザ・ベストイメージングコンテストを行い、皆様のご協力のもと盛会裏に終了することができました。

新潟は以前より超音波検査には熱心に取り組んでいる所で、当研修委員会と協力して行っている超音波セミナーも回を重ね今年で11回となり、参加者も年々増え盛大になってきています。そこで今回のコンテストでは地元の症例を集めようと、地方会実行委員の皆様にご協力をお願いし、新潟の施設からの応募も多くいただきました。応募総数は36症例と近年にはない多くの応募をいただきました。審査にも多くの皆様に参加いただき各賞が決定されました。今回は検診から発見された症例も多く、時間が制約される業務の中、装置の条件を適切調整し、撮像するタイミングを的確にとらえ、病変部が鮮明描出された素晴らしい画像が集まりました。審査も難しかったようで、投票数が同数となる症例が多くありましたので、特別賞を2点としました。決定しました最優秀賞、優秀賞、特別賞を獲得された皆様のお名前と、画像を以下にご報告いたします。

応募して頂きました皆様および当日審査に参加して頂きました皆様ありがとうございました。御礼申し上げます。次回も多数のご応募よろしくお願い致します。

横浜総合健診センター 中村 稔
早期胃癌検診協会 山本 美穂

【最優秀賞】



記録者：落合 加奈絵
所属：千葉西総合病院臨床検査科
装置：東芝Aplio500
周波数：5.0MHz
症例：脾静脈に浸潤した膵癌
記録者コメント

脾静脈浸潤がよく観察できました。

【優秀賞】



記録者：齋藤 智

所属：新浦安虎の門クリニック

装置：東芝 Xario SSA-660A

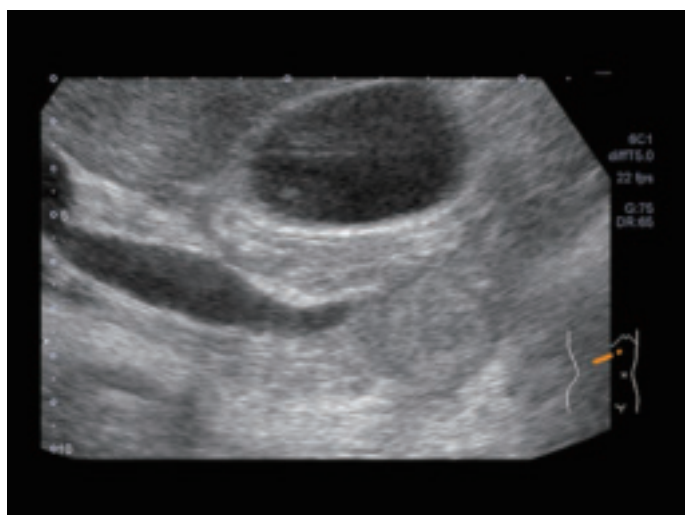
周波数：5.0MHz

症例：主膵管型IPMN

記録者コメント

主膵管拡張の受診者の経過観察3年目に、拡張が進み内部に隆起性病変が出現した。画像は、通常使用しているコンベックス型プローブで描出した膵頭部の主膵管の画像である。

【特別賞】



記録者：吉成 綾香

所属：千葉西総合病院臨床検査科

装置：東芝 Aplio500

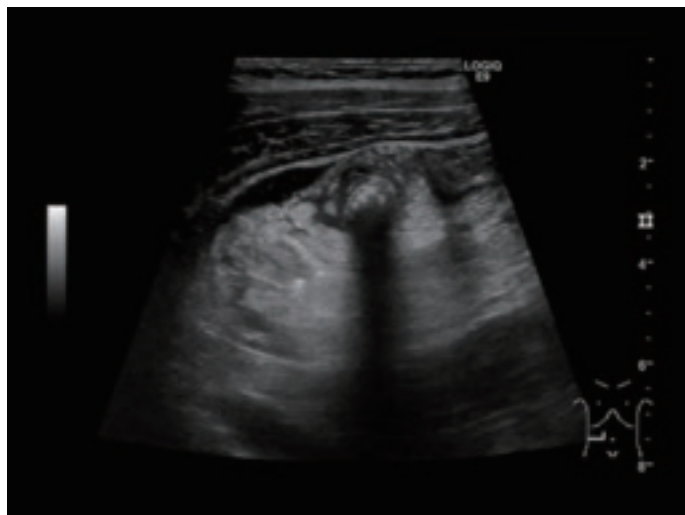
周波数：5.0MHz

症例：膵癌による胆管閉塞

記録者コメント

膵頭部下部から膵鉤部の腫瘍により胆管が閉塞していました。十二指腸の蠕動でガスがなくなった瞬間に撮像しました。

【特別賞】



記録者：中河原 浩史

所属：日本大学病院

装置：GE LOGIQ E9

周波数：9.0MHz

症例：結腸憩室炎

記録者コメント

憩室内の糞石とその周囲の炎症像・腹水を綺麗に捉えることができました。

第77回 日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会 開催のご案内

会期：平成29年8月26日(土)

会場：ワークピア横浜

神奈川県横浜市中区山下町24-1

会長：鈴木 康元

松島病院大腸肛門病センター松島クリニック 診療部長

問い合わせ先：第77回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会事務局

〒220-0045 神奈川県横浜市西区戸部本町3-138

連絡先 (電話) 045-241-7311

松島クリニック医局 (城崎)

E-mail: jsgcs_kanto_77th@matsushima-hp.or.jp

ホームページ: <http://jsgcs-kanto-77th.wix.com/homepage>

前処置から画像診断支援まで

人々のすこやかな毎日を願い、より適確でより安心な診断ができる信頼ある製品づくりを。

薬価基準収載

処方箋医薬品 注意-医師等の処方箋により使用すること

【硫酸バリウム製剤】

■ 大腸CT用経口造影剤

コロンフォート® 内用懸濁液25% **新発売** 2016年3月承認、5月薬価基準収載

■ 上部消化管X線造影剤

バリテスター® A240散 **バリトゲン**® SHD **エネマスター**® 注腸散
硫酸バリウム散 99.5%「FSK」

■ 注腸用X線造影剤

■ 消化管X線造影剤

バリトゲン® HD **バリトゲン**® デラックス **バリエース**® 発泡顆粒
バリトゲン® **ウムブラMD** 【炭酸水素ナトリウム・酒石酸配合剤】
■ X線診断二重造影用発泡剤

■ 胃内有泡性粘液除去剤

バリトゲン® 消泡内用液 2%
(ジメチコン内用液)

■ 緩下剤

ファースル® 錠 2.5mg
(ピコスルファートナトリウム錠)

取扱商品

■ 大腸・CT用検査食 **FG-two**☆

エスビー食品と共同開発。
味とボリュームにこだわった、簡単調理の検査食。

■ 清涼飲料水 **PROJECT F**.

難消化性デキストリン(食物繊維として)入り。

■ 医療用潤滑剤 **FG** Jelly

消臭成分と抗菌成分をダブル配合。
刺激性の少ない透明タイプの水溶性潤滑ゼリー。

遠隔画像診断支援サービス

G.I.Lab株式会社

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-1
KIMURA BUILDING 7F TEL: 03-5283-0981

検診に特化。
胃X線を始め、胸部X線、マンモグラフィー、CT・MRI、大腸CTなど、多様な画像をお取り扱いします。

※ 効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等詳細は、添付文書をご参照下さい。

FSK 伏見製薬株式会社

● 資料請求先 営業企画部／香川県丸亀市中津町1676 TEL 0877-22-7284 FAX 0877-22-6284

仙台営業所／TEL 022-295-5667 東京営業所／TEL 03-5328-7801 名古屋営業所／TEL 052-732-8555
大阪営業所／TEL 06-6160-2431 中四国営業所／TEL 082-509-2431 福岡営業所／TEL 092-413-4107
金沢オフィス／TEL 076-255-0282 <http://www.fushimi.co.jp>

第77回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会会長挨拶**テーマ：消化器がん検診に若い力を**

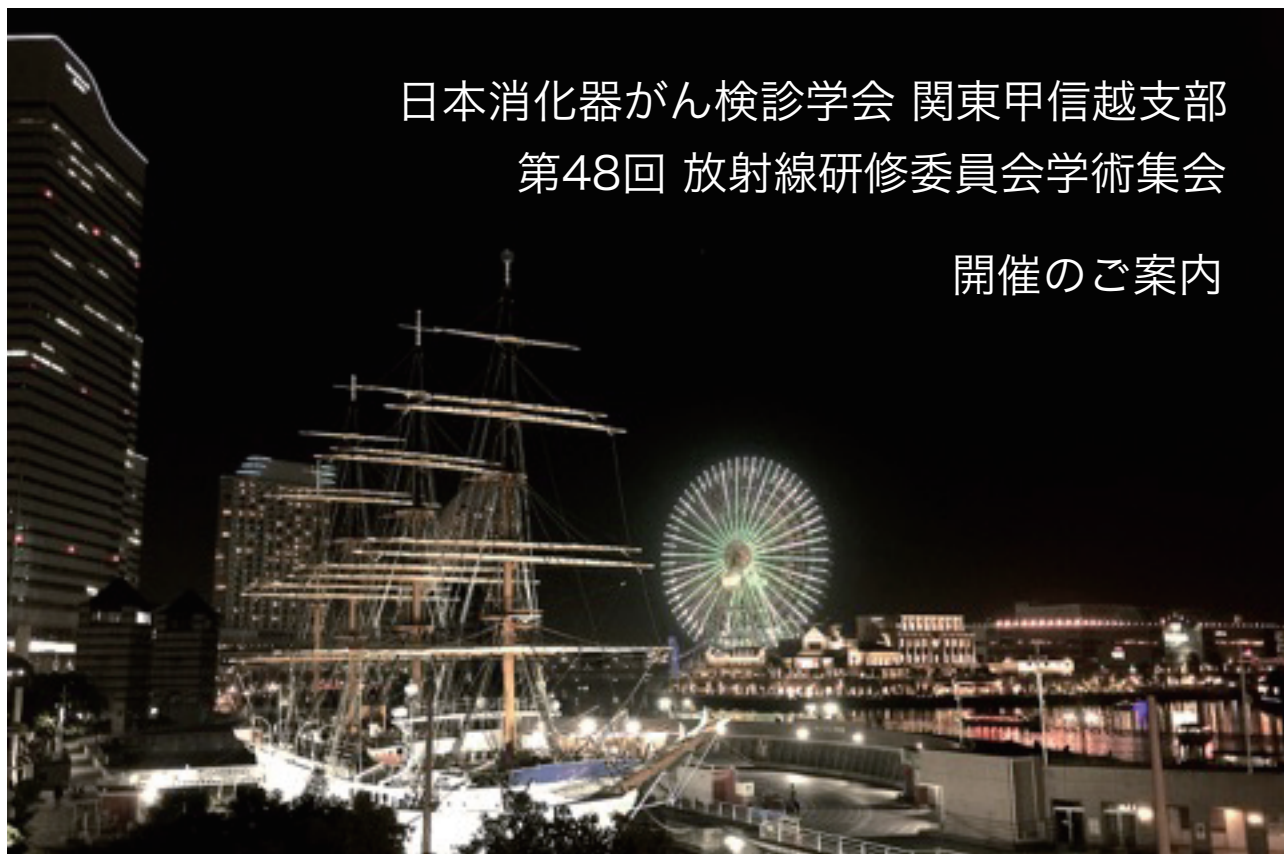
会長 鈴木 康元
(松島大腸肛門病センター
松島クリニック 診療部長)

この度、第77回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会の会長を拝命し、2017年8月26日(土)にワークピア横浜（横浜市中区山下町）にて開催させていただくことになりました。伝統ある本会のお世話をさせて頂くことになり、大変光栄に存じますとともに学会会員の皆様方にどれだけ貢献できるか、その責任の大きさを痛感しております。

日本人の死因順位の第1位は悪性新生物ですが、中でも本会が関わる大腸癌、胃癌、膵臓癌、肝臓癌の占める割合は高く、本会会員の一層の努力が求められています。しかし、若い方々からは「がん検診は難しい」と敬遠されがちであることから、今回はこの問題を克服すべくテーマを『消化器がん検診に若い力を！』としました。これからのがん検診の担い手である若い方々にがん検診の面白さを分かっていただけるように、教育講演、主題、セミナーのすべてにおいて初心者の方にも「がん検診」の魅力が伝わるような内容にしたいと考えております。

開催地であります横浜は、安政6年(1859)の開港以来国際貿易港として発展した都市で、とくに今回の会場となるワークピア横浜は横浜港に面する山下公園や横浜中華街からも至近距離にあります。「古さと新しさ」が混在する魅力ある港町横浜を是非この機会にご堪能いただければと思います。

多くの皆様のご支援とご参加を心よりお願い申し上げます。



日本消化器がん検診学会 関東甲信越支部 第48回 放射線研修委員会学術集会

開催のご案内

会 期：2017年 3月 11日（土）

会 場：はまぎんホール ヴィアマーレ
神奈川県横浜市西区みなとみらい 3-1-1

大 会 長：小田 丈二 （東京都がん検診センター 消化器内科）

実行委員長：植村 博次 （神奈川県予防医学協会 放射線技術部）

テ ー マ：胃がん検診 Next Stage “X線・内視鏡の共生”

プログラム：特別講演・教育講演・シンポジウム 他

お問い合わせ：第48回放射線研修委員会事務局

〒231-0021 神奈川県横浜市中区日本大通58

神奈川県予防医学協会 放射線技術部 植村博次

TEL 045-641-8506

FAX 045-641-6140

E-mail uemura@yobouigaku-kanagawa.or.jp

ホームページ <http://www.jsgcds-kanto-x.org>

初心者のための腹部超音波実技講習会(第22回)

会期：平成29年2月18日(土) (予定) 会場：公立学校共済組合関東中央病院
募集人員：25名

日本消化器がん検診学会関東甲信越支部 平成29年度超音波研修委員会セミナーのご案内

会期：平成29年4月15日(土)

午後1時から4時30分

(受付開始12時30分)

会場：東医健保会館大ホール

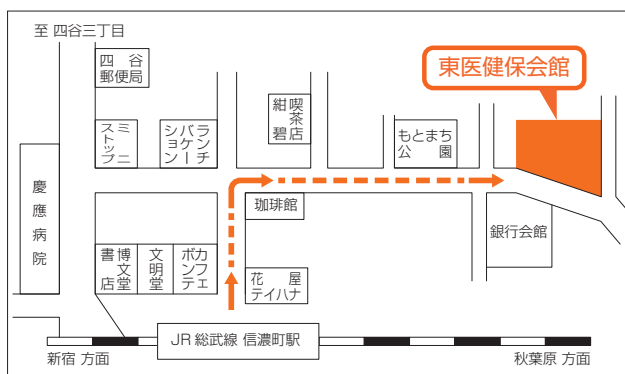
東京都新宿区南元町4番地

※このセミナーは、社団法人日本超音波医学会認定「超音波検査士」資格更新指定の対象になっており、出席5単位が付与されます。

プログラムの詳細が決まり次第ホームページに掲載致します。

問合せ先：関東中央病院画像診断科E-mail:kensa.gazou@kanto-ctr-hsp.com

ホームページURL：<http://www.mskanus.org/>



消化管の診断に

処方せん医薬品

X線造影剤〈硫酸バリウム製剤〉

◇パウダー製剤

硫酸バリウム散 99.1%「共成」	バリトップHD
ネオバルギンEHD	バリブライトP
ネオバルギンUHD	バリブライトCL
ネオバルギンHD	バリコンクMX
	バリブライトLV

◇ゾル製剤

バムスターS200	バリトップゾル150
バリトップ120	バリブライトゾル180

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

※注意—医師等の処方せんにより使用すること

発売元 **KAIGEN** カイゲンファーマ株式会社

大阪市中央区道修町二丁目5番14号〔資料請求先 商品企画部〕
<http://www.kaigen-pharma.co.jp>

薬価基準収載



※平成25年4月より株式会社カイゲンはカイゲンファーマ株式会社へ社名変更いたしました。

日本消化器がん検診学会関東甲信越支部超音波研修委員会 第6回 千葉セミナー

2017年7月1日(土) (受付12時～)

場所 千葉市民会館 (小ホール)

日本消化器がん検診学会関東甲信越支部超音波研修委員会

代表世話人：若杉聡

大会長 山口和也

(ちば県民保健予防財団総合健診センター)

参加費 500円 (予定)

<超音波検査士資格更新指定／5単位>

プログラム

セミナー 受付12時～

教育講演 膵臓がん早期発見早期治療のために (仮題)
～健診施設と専門施設の速やかな連携～

講師／千葉県がんセンター 山口 武人

座長／ちば県民保健予防財団総合健診センター 山口 和也
その他準備中

千葉市民会館

〒260-0017 千葉市中央区要町1-1

TEL 043-224-2431

JR千葉駅より徒歩7分

主催 日本消化器がん検診学会関東甲信越支部超音波研修委員会

後援 日本超音波検査学会

◎12時から17時機器展示を予定しています。

問い合わせ先

大会長 山口和也 ka-yamaguchi@kenko-chiba.or.jp

超音波スクリーニング研修講演会2016五反田のご案内

会 期：平成28年12月17日(土) 午前9時55分～午後5時

*開場・受付開始：9時から

会 場：TOC五反田メッセ（東京都品川区西五反田6-6-19）

*JR山手線『五反田駅』西口より徒歩10分

*<http://messe.toc.co.jp/access/>

参加費：5,000円 事前登録不要

主 催：特定非営利活動法人 超音波スクリーニングネットワーク（理事長：桑島 章）

共 催：日本消化器がん検診学会／日本総合健診医学会

後 援：日本超音波検査学会／超音波検査法フォーラム／全国労働衛生団体連合会

日本臨床衛生検査技師会／東京都臨床検査技師会／神奈川県臨床検査技師会

日本診療放射線技師会／東京都診療放射線技師会／神奈川県放射線技師会

問合せ：E-mail:us-net@pl-tokyo-kenkan.gr.jp（事務局）

プログラム

テーマ：『超音波所見を極める』

09:55	開会の辞	理事長 桑島 章
10:00～10:45	『肝臓』	講師：小川 真広（日本大学病院）
11:00～11:45	『胆道』	講師：関口 隆三（東邦大学医療センター大橋病院）
12:15～13:00	『超音波画像と病理』	講師：市原 真（札幌厚生病院）
13:15～14:00	『乳腺』	講師：堀井 理恵（がん研有明病院）
14:15～15:00	『腹部血管病変』	講師：平井 都始子（奈良県立医科大学附属病院）
15:15～16:00	『腎・膀胱』	講師：森 秀明（杏林大学医学部付属病院）
16:15～17:00	『脾臓』	講師：岡庭 信司（飯田市立病院）
17:00	開会の辞	副理事長 関口 隆三

*超音波検査士資格更新の5点が付与されます。

*ランチョンセミナーで弁当（900食）を用意しています。

*超音波関連の書籍展示販売を行います。

**携帯電話用QRコード（対応機種で地図を表示できます）



第12回千葉県消化管画像づくり研究会開催のご案内

日 時 平成28年11月12日(土) 14:00～18:00

場 所 千葉衛生福祉協会千葉診療所会議室 (7F)
千葉市中央区院内1丁目8-12

プログラム

- I. メーカー講演** 14:00～14:50
『背景胃粘膜を楽しく学ぼう』 カイゲンファーマ株式会社
座長 最成病院 西沢 敬 技師
X線画像からピロリ菌感染が分かる！？
最近話題となっている内容を分かり易くお話していただきます。アンサーパットを使用して、実際の画像を見ながらみんなで考えてみましょう。
-
- II. 教育講演** 15:00～15:50
『今知っておきたい、対策型胃内視鏡検診について』
ちば県民保健予防財団総合健診センター 山口 和也 医師
内視鏡での胃がん検診って、どのように行われているのでしょうか？
放射線技師向けに内視鏡検診の現状をお話していただきます。
-
- III. 教育講演** 16:00～16:50
『Stop！撮りっぱなし』 安房地域医療センター 鈴木 一志 技師
ちょっと待って！その画像、撮りっぱなしにしないで自分達で読影してみませんか。
今まではちょっと難しかった読影の話を用語や考え方など整理しながら分かり易く解説していただきます。読影力をステップアップ！
-
- IV. 『あれ…？これって…？なるほど！』** 17:00～17:50
幕張クリニック 村岡 勝美 技師
協賛 カイゲンファーマ株式会社
実際に県内で撮影されたX線画像を見ながら、アンサーパットを使用して、みんなで病変の特徴について考えてみましょう。
-
- 情報交換会** 18:00～19:00
研究会終了後に、今年も情報交換会を行います（無料）。
出合いも大切な財産になるはずです。是非、ご参加下さい！

※内容等は、変更する場合があります。

※なお本研究会の参加費として1000円いただきます。

また参加されますと日本消化器がん検診学会認定「胃がん検診専門技師」資格更新単位が2単位付与されます。

※お車でお越しの方は近隣の有料駐車場をご利用いただきますようお願いいたします。

事務局：公益財団法人ちば県民保健予防財団集検放射線課 いしい たかお 石井 崇雄 Tel：043-246-8602

編集後記

2016年8月20日に第76回地方会が成澤大会長の元、新潟朱鷺メッセを会場として盛大に開かれました。大会長のご挨拶を掲載いたしました。関東甲信越地方といっても、日本海側から太平洋側と広域であるにもかかわらず、早朝から大勢参加していただきました。熱気にあふれ、地元の新潟の方々のパワーを感じました。2018年6月の総会も新潟で開かれるそうで、今から楽しみにしています。

地方会における腹部超音波研修委員会の恒例行事となっているザ・ベストイメージングコンテストの結果も掲載させていただきました。通常業務の中で、魂を込めた写真を記録していただいた中から、入念に選んで応募していただきました。多くのすばらしい写真が集まりました。ニュースレターに掲載されなかった多くの写真もすばらしい写真ばかりでした。

2017年の第77回地方会は、鈴木先生が大会長で、横浜で開かれます。大会長のご挨拶と、開催のご案内を掲載いたしました。ホームページも既に開設していただいています。是非皆様ご覧下さい。

時代の変わり目で、対策型胃内視鏡検診の組織作りを千葉県でも、千葉市、船橋市でしているところで、読影委員会でのダブルチェックの準備をしています。いったい何人くらいの受診者数になるのか、予測より大きく上回ってしまっても、混乱を招いてしまいますので、不安な面も多いです。大腸CTも大腸がん検診の精密検査として広がりつつあり、我々も準備しています。

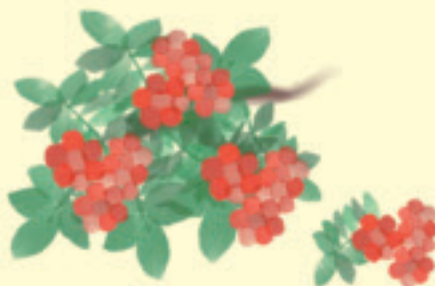
会員の皆様も、ご苦勞が多いと思います。一緒に頑張りましょう。

公益財団法人ちば県民保健予防財団
総合健診センター消化器科
山口 和也

■編集委員会■

編集委員長 山口 和也

編集委員 小田 丈二 岡田 義和 神宮字 広明 山本 美穂
石井 崇雄 木村 友子 渡邊 綾子



(非売品)